

会 議 報 告 書

会議名	令和元年度第2回 三郷市地域包括支援センター運営協議会		
日 時	令和元年 11月 21日 (木) 午後 1時 30分～2時 25分	場 所	健康福社会館 5階、501・502 会議室
次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1) 報告 ・地域包括支援センターみさと南職員変更【資料1-1】【資料1-2】 ・令和元年度三郷市地域包括支援センター実地検査結果【資料2-1】【資料2-2】 ・令和2年度三郷市地域包括支援センターの受託意向調査結果【資料3】 ・三郷市在宅介護支援センターについて 4. その他(連絡事項等) 5. 閉会		
出席者	【会 長】 谷口 聡 【副会長】 板垣昭代 【委 員】 海老原英之、須藤政次、清水美代子、吉村節子、関根勲 【地域包括支援センター】 長島所長(みずぬま)、樋口所長(早稲田)、矢口所長(ひこなり北)、石本所長(みさと中央)、佐藤所長(みさと南)、入澤所長(しんわ) 【事務局】 森泰子(福祉部副部長) 齋藤衣子(ふくし総合支援課長)、原山千恵(長寿いきがい課長)、松井裕介(同課副参事) 高橋浩(同課長補佐兼介護認定係長)、狩谷朗(同課長寿いきがい係主査)、五十嵐順(ふくし総合相談室長兼総合相談係長)、元井隆幸(同室地域包括係長)、八巻絢子(同係主査) 【傍聴人】 0人		

● 審議事項における確認事項

議事	(1) 報告 ・地域包括支援センターみさと南職員変更・・・・・・・・・・・・・・・・承認 ・令和元年度三郷市地域包括支援センター実地調査結果報告・・・・・・・・承認 ・令和2年度三郷市地域包括支援センターの受託意向調査結果報告・・・・・・・・承認 ・三郷市在宅介護支援センターについて・・・・・・・・・・・・・・・・次回報告
令和元年度第2回三郷市地域包括支援センター運営協議会 議事内容	
1 開会(司会: 齋藤課長)	
○会長あいさつ	
○副部長あいさつ	
2 委員紹介	

○板垣委員紹介	
○出席者自己紹介	
(1) 報告	
・地域包括支援センターみさと南職員変更【資料1-1】【資料1-2】(非公開)	
承認	
・令和元年度三郷市地域包括支援センター実地調査結果報告【資料2-1】【資料2-2】	
会長	次の報告事項に移る。令和元年度三郷市地域包括支援センター実地検査結果について、事務局に説明をお願いする。
事務局	【資料2-1】【資料2-2】説明
会長	この件に関して、意見や質問はあるか。
清水委員	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援ということで、Q61の公平性・中立性確保ですが、前回の会議の時に各地域包括、委託先がなくて大変な思いをしているところや、まったく委託していません、というところがあったが、例えば各地域包括ごとに、どこに何件委託しているかということを可視化することは可能か。
事務局	資料は皆様のお手元にはないが、第1回協議会の実績報告書にて委託件数及び委託先について記載させていただいている。
会長	委託先まで事業所ごとに出ているのか。見直してみましょう。
清水委員	地域ケア会議は、個別と地域と推進ケア会議とか3段階になっていたように思うが、地域推進ケア会議というのはあるのか。
事務局	市町村の規模によって何段階かというところはそれぞれ決まっている。三郷市ぐらいの人口の規模だと個別の圏域ごとの会議と市で開催するケア会議の2段というところが一般的なものと認識している。
清水委員	ありがとうございました。
会長	他に意見や質問はあるか。
吉村委員	高齢者の虐待が相当増えているという話を受けたが、どのぐらいの割合で増加しているのか。それから、簡単な事例で一般の人たちが見逃しているようなサイン等あれば教えていただきたい。
会長	具体的に数を上げられるか。
事務局	今年度については統計的な数字までお出しできないが、年間で50数件の虐待や虐待疑い事例がある。今年度においては、特に生命に関わるような身体的な虐待等が複数発生しており、深刻に捉えている。虐待のサインというところになるが、具体的な事例ということで、虐待者も含めてだが虐待しているという認識がなくて、それが顕在化しないというところがある。我々としてもどのようなことが虐待にあたるのか、ということについて関係者及び市民にこれまで以上に周知はしていかななくてはいけないと考えている。
会長	50数件か。
事務局	年間で大体それぐらいの数字である。
会長	昨年度はどのぐらいだったか。

事務局	昨年度は 50 件ぐらい。
会長	その前はどうか。
事務局	29 年度 51 件である。
会長	増えているのでは無くてコンスタントにそれぐらいということか。
事務局	数自体は大きく増加というかたちではないが、最近は深刻な報告が多い。
齋藤課長	大体の件数は 50 件ぐらいかと思われる。今年度は時期的に集中した時期があった印象がある。
会長	虐待事例で困難な事例を持っている地域包括はあるか。
発言に個人を特定する情報があるため一部非公開	
会長	どのように虐待を早期発見するか、地域包括がそれをできるかどうかと言われると大変なところだと思う。地域包括が第一発見という例はあったか。佐藤所長いかがか。
佐藤所長	第一発見者のなることが多いのはデイサービス。風呂に入れる時にケガを見つけるというパターンが多い。デイサービスからケアマネジャーに連絡がいき、そこから地域包括に連絡がある。二の腕に手の跡があるとか、あまりあざがないのに胴にあざがあるとか、体のケアをする人が見つける場合が多い。デイサービスのスタッフも対応にだいぶ慣れてきていて、疑わしい傷を発見した段階で早めに写真を撮っておくという認識はだいぶ広まってきていると思う。原因は認知症高齢者の介護負担が一番多いかと思うが、本当はもっとケアを増やせばいいが、サービスを増やすお金が無く最小限のサービスでやっているところに負担が増えて、というパターンが多い。解決となると経済的な支援かと思う。介護負担の軽減という意味では、かなり多方面からの介入が必要だろうという事例が多いと思う。
会長	身体的虐待に関してはデイサービスでの入浴というのがあるが、例えばネグレクトや経済的虐待や搾取などはもっと表面化しづらい。なかなか気づけず、深刻化してから表面化することが多いのではないかと思う。地域包括に相談があった時には、結構進んでいるだろうから大変だろうと思う。今後どうやって発見していくかというのは課題になると思う。この件に関しても他の件に関しても意見はあるか。
須藤委員	虐待件数に関して“50 件平均”という話だったが、そのうち民生委員や近隣住民とか、そういった地域のかたから報告・相談が上がってくるというケースはあるか。また何件ぐらいあるか。
事務局	毎年国から高齢者虐待の調査があり、そちらでは通報者等を報告している。資料が手元に無いのでこの場で具体的な件数は回答できないが、地域住民が通報者になっているという事例はある。
五十嵐室長	追加になるが、この夏に近隣住民から「高齢者が外に出されている」とか、そういったものは連絡が入ったことがある。高齢者に限らず、子どもの泣き声が頻繫にするとか、当相談室は総合相談の部署を持っているので、そういった連絡が入ると関係課と共有し対応している。
会長	他に意見や質問はあるか。

出席委員	(意見・質問なし)
会長	もうひとつ、みずぬまの包括的継続的ケアマネジメントの支援というところで、80・50問題というものが出ている。80・50問題は最近話題になることが多くあるので、ここでもし紹介できればどのような事例だったのか教えていただきたい。
発言に個人を特定する情報があるため一部非公開一部非公開	
会長	実際ケアマネジャーの動きを見ていると、キーパーソンとすることが難しいような家族、息子、娘等をどのように説得し、ケアに繋げていくかということを非常に苦勞しているという印象がある。やはり「50」の子をどのように支えるかが問題だと強く感じた。海老原委員から意見はあるか。
海老原委員	この調査票は今までもあったのか。今年この調査票の一部改正があつてから使い始めたように思うが。
事務局	この全国統一調査は2回目である。昨年度の審議会では従前の三郷市独自の調査のものを使用し報告させていただいた。
会長	これで他の地域と比較しやすくなる。
海老原委員	今後はこれを使用していくのか。
事務局	その予定である。
会長	板垣副会長はいかがか。
板垣副会長	現場の状況を生で聞かせてもらったが、改めて現場の人間は非常に苦勞していると思った。専門分野の母子の知識はあるが、会長の高齢者虐待の話から虐待の背景要因は経済等々、母子にも繋がると思う。大人も子どもも高齢者も、人が起こす問題というのはすごく共通性が強いものだと思いながら聞かせていただいた。
会長	他に意見や質問はあるか。
清水委員	調査の3-3の生活支援のコーディネーターや協議体と連携した取組というところで、ほとんど「いいえ」になっているが、生活支援コーディネーターとは多様なサービスと繋げるかたちであるが、この辺はどのようになっているのか。
会長	生活支援コーディネーターという人はどういう立場か。どこに普段いるのか。
狩谷主査	生活支援コーディネーターについては、担当職員が本日出席できなかったので細かい説明を申し上げることができないが、基本的には国が示している指針として、生活支援コーディネーターという役割のかたが、行政が把握していない地域資源を拾い上げて、そういうものを活用して高齢者の孤立を防ぐための体制を作るものと存じている。協議体は第1層を何回か開催はしている状況であるが、「地域でこういう問題がある」という課題を挙げる話に留まり、具体的にどうするということまで落とし込めていない、という現状である。
原山課長	追加だが生活支援コーディネーターは現在、社会福祉協議会に委託している。第1層協議体については、明日また会議がある。第2層の協議体というものを各圏域に作りたいと考えているが、これについては地域包括を中心に、また協議させていただきながら作りたいと考えているところである。
会長	生活支援コーディネーターは社会福祉協議会にいるということだが、そこに何

	らかの協議体があるわけか。他にまた別にいるのか。
原山課長	まず第1層の協議体という市全体のものが1つあり、第2層の協議体がその下にあるというところだが、第2層協議体がまだ1つしか設置できていない。これから構築を進めていかなければならないと考えており、少しずつ進めているところである。
会長	眠っている社会資源をどう活用するかと考える人たちか。
原山課長	コーディネーターはそうである。後は地域の課題を共助、すなわちお互いの問題を自分たちで解決していくための資源を発掘し、それを上手く使っていこうというものである。
会長	この人たちと地域包括とは結びつきは弱いと思われる。
原山課長	市の働きかけもまだ弱いのでこれからの課題である。今までの課題でもあった。
会長	他に意見や質問はあるか。
出席委員	(意見・質問なし)
会長	毎年毎年話題に上るというところで、相談件数の偏りが地域包括ごとに非常に大きい。ひこなり北は7653件でみさと南は954件と、おそらく積算方法が相談のどこからどこまで相談件数に含めるか個々で違うと思われる。せっかく全国統一したフォームになったので、ある程度統一した基準に従って数えていただいたほうが良いと思う。来年はそのようにしたほうがよいのではないかと思う。それでは意見がかなり出たので、地域包括の方々には資料をよく読み込んでいただきたい。 それでは次の報告事項に移る。
・令和2年度三郷市地域包括支援センターの受託意向調査結果【資料3】	
会長	事務局に説明をお願いします。
事務局	【資料3】説明
会長	来年も引き続き受けていただけるということである。よろしくをお願いします。 この件に関して、質問はあるか。
出席委員	(意見・質問なし)
会長	それでは次の報告事項に移る
・三郷市在宅介護支援センターについて	
会長	事務局に説明をお願いします。
事務局	議題に挙げているが、委託先の法人からまだ回答をいただけていないため、次回の報告とさせていただきます。よろしくをお願いします。
会長	次回この在宅介護支援センターについての報告があるということでよろしくをお願いします。 それでは事務局の説明が全て終了したが、委員より意見や質問はあるか。
出席委員	(意見・質問なし)
会長	以上で報告事項を全て終了した。進行を事務局にお返しする。
4. その他（連絡事項等）	

司会(事務局)	○一部資料を回収
5. 閉会	
○板垣副会長あいさつ	